

## 学生・生徒、教職員アンケート調査結果概要<速報>

### 1. 調査人員

単位：人

区 分	配布数	回答者数	回答率
学生・生徒	4,800	2,653	55.3%
教職員	520	337	64.8%
計	5,320	2,990	56.2%

<参考> 調査を実施した大学等の在籍者数 単位：人

区 分	在籍者数	回答者数	回答者の割合
学生・生徒	43,283	2,653	6.1%
教職員	3,777	337	8.9%
計	47,060	2,990	6.4%

### 2. 現在の通学、通勤の交通手段（端末交通手段）

単位：% （ ）は回答者数：人

交通手段	学生・生徒		教職員		回答者数計
	構成員比	(人員)	構成員比	(人員)	
スクールバス	34.0	(903)	20.5	(69)	972人
自家用車	16.7	(444)	56.7	(191)	635人
自転車	13.0	(345)	1.8	(6)	351人
名鉄バス	11.1	(295)	13.4	(45)	340人
市バス	8.3	(221)	1.5	(5)	226人
バイク・原付	6.4	(171)	0.0	(0)	171人
徒 歩	4.2	(111)	0.6	(2)	113人
愛知環状鉄道	2.7	(72)	1.5	(5)	77人
JRバス	1.7	(46)	0.9	(3)	49人
その他	1.7	(45)	3.3	(11)	56人
合 計	100.0	(2,653)	100.0	(337)	2,990人

### 3. 東部丘陵線の利用意向

単位：% （ ）は回答者数：人

区 分	利用する	利用しない	分からない	合 計
学生・生徒	20.5	47.4	32.1	100.0
	(388)	(898)	(607)	(1,893)
教職員	36.2	57.0	6.8	100.0
	(85)	(134)	(16)	(235)

(この設問について、未回答の者及び「利用しない」と回答した中でその理由が「自宅から東部丘陵線の駅が遠いから」と回答した者の合計862名は除く。)

## 4. 端末交通手段別の利用意向

単位：%

区 分	利用する		利用しない		分からない	
	学生・生徒	教職員	学生・生徒	教職員	学生・生徒	教職員
スクールバス	17.5	35.6	39.5	55.9	43.0	8.5
自家用車	8.5	21.4	68.2	74.1	23.3	4.5
自転車等	22.1	0.0	54.1	66.7	23.8	33.3
名鉄バス	42.9	81.4	29.8	11.6	27.3	7.0
その他	19.0	27.8	47.0	61.1	34.0	11.1
合 計	20.5	36.2	47.4	57.0	32.1	6.8

(「自転車等」には「バイク・原付」を含む)

## 5. 東部丘陵線を利用しない理由 (複数回答)

単位：%

理 由	学生・生徒	教職員
自宅から東部丘陵線の駅が遠い	42.4	41.2
他の交通手段を利用	35.7	45.6
学校から東部丘陵線の駅が遠い	27.1	46.1
現在より時間がかかる	18.2	25.9
バス路線の方が便利	15.4	8.3
乗換えが増えて面倒	11.4	16.2
運賃がバス並みは高い	10.8	4.8
乗換えが増えて交通費が高い	10.0	9.2
運行本数が少ない	3.1	1.8
その他	0.5	0.4

(回答者数：学生・生徒 1,560人、教職員 228人)

質問1 あなた自身についてお聞きします。当てはまる項目の番号を○で囲んでください。

性別は 1. 男 2. 女

学年は 1. 1年生 2. 2年生 3. 3年生 4. 4年生

5. 大学院生その他

質問2 あなたは、どのくらいの回数で通学されていますか。当てはまる項目の番号を○で囲んでください。

1. 週に5日以上 2. 週に3～4日 3. 週に1～2日

4. 月に2～3回程度 5. それ以下(具体的に)

質問3 あなたには、自由に使える自動車がありますか。当てはまる項目の番号を○で囲んでください。

1. ある 2. ない

質問4 通学に要する費用は、あなた自身が負担していますか。当てはまる項目の番号を○で囲んでください。

1. 全部負担している 2. 一部負担している

3. 負担していない

質問5 自宅から、学校(大学・短大)までのすべての交通手段を下から選んで順にワクの中に番号を記入してください。

自宅→ 

--	--	--	--	--	--	--

 →学校

交通手段の例

1. 徒歩 2. 自転車 3. バイク・原付

4. 名古屋市営バス 5. 名鉄バス 6. JRバス

7. スクールバス 8. N-バス 9. くるりんバス

10. JR鉄道 11. 名鉄電車 12. 地下鉄

13. 愛知環状鉄道 14. タクシー 15. 自家用車

16. その他( )

質問6 自宅から学校までの所要時間はどれくらいかかりますか。

--	--

 時間 

--	--

 分

質問7 鉄道(地下鉄・名鉄・愛知環状鉄道等)の駅を利用している方にお聞きします。

(1) 学校の最寄りの駅から学校までの所要時間はどれくらいかかりますか。

--	--

 分

(2) また、道路が混雑しているときは、どれくらいかかりますか。(徒歩の方は回答不要です。)

--	--

 分

(3) 最寄りの駅から学校までの道路はどの程度混雑していますか。当てはまる項目の番号を○で囲んでください。(徒歩の方は回答不要です。)

1. いつも混雑している 2. たまに混雑する

3. あまり混雑しない 4. 混雑しない

5. 分からない

質問 8 鉄道の駅から路線バス（名鉄バス、名古屋市営バス、JRバス等）を利用されている方にお聞きします。

(1) 利用されている券種等は何ですか。当てはまる項目の番号を○で囲んでください。

1. 定期券
2. バスカード（名鉄バス）
3. ユリカ
4. 現金
5. その他（ ）

(2) バス運賃についてどのように感じていますか。当てはまる項目の番号を○で囲んでください。

1. 安い
2. やや安い
3. ふつう
4. やや高い
5. 高い

質問 9 すべての方にお聞きします。東部丘陵線が、裏面の図のように計画されていますが、現在、下記の四角の内容で開業していると仮定した場合、あなたは通学等に利用しますか。当てはまる項目の番号を○で囲んでください。

- 運行本数は、朝夕のラッシュ時間帯で1時間10本（6分間隔）、昼間時間帯で1時間4本（15分間隔）
- 運賃は、現行の路線バス並み
- 所要時間は、藤ヶ丘～八草が約15分、各駅間は1～2分
- 現在、地下鉄藤ヶ丘駅等から運行されているバス路線（スクールバスを含む）は東部丘陵線につなぐ路線へ再編するものと仮定します。  
また、東部丘陵線の駅へのバス路線の本数は、現在藤ヶ丘駅などへ運行している本数並みと仮定します。

1. 必ず利用する
2. たぶん利用する
3. たぶん利用しない
4. 利用しない
5. 分からない

質問 10 質問 9で「1. 必ず利用する」または「2. たぶん利用する」と回答された方にお聞きします。

(1) その時にご利用になる駅はどこからどこまでですか。裏面の図を参考にお答えください。

駅から  駅まで

(2) その時の駅から学校までに想定される交通手段は何ですか。当てはまる項目の番号を○で囲んでください。

1. 徒歩
2. 自転車
3. バイク・原付
4. バス（スクールバスを含む路線ができれば）
5. その他（ ）

質問 11 質問 9で「3. たぶん利用しない」または「4. 利用しない」と回答された方にお聞きします。

利用しない理由は何ですか。当てはまるもの全ての番号を○で囲んでください。

1. 自宅から東部丘陵線の駅が遠いから
2. 学校から東部丘陵線の駅が遠いから
3. 運賃がバス並という仮定なので高いから  
→いくらなら利用しますか。（ ） 円くらい
4. 東部丘陵線の運行本数が1時間当たり10本しかなく少ないから
5. 現在のバス路線の方が便利だから
6. 現在より時間がかかるから
7. 他の交通手段（自動車・バイク・原付・自転車・徒歩等）を利用するから
8. 乗換えが増えて、面倒だから
9. 乗換えが増えて、交通費が高くなるから
10. その他（ ）

ご協力ありがとうございました（大学生・短大生用）

<参 考>

路線バス利用者の現行バス運賃についての意識

項 目	安い	やや安い	ふつう	やや高い	高い	計
割合 (%)	4.3	6.3	26.4	18.6	44.4	100.0

6. 東部丘陵線の利用者の推計

○「利用する」と答えた人員を基に、東部丘陵線を利用する学生・生徒、教職員の人員を推計すると、7, 2 8 3人となる。

《学生・生徒》

$$43,283人 \times \frac{388人}{2,653人} \Rightarrow 6,330人$$

《教職員》

$$3,777人 \times \frac{85人}{337人} \Rightarrow 953人$$

計算式

$$\text{在籍者数} \times \frac{\text{「利用する」と回答した学生等回答者数}}{\text{回答者数}} \Rightarrow \text{推計利用者数}$$

○東部丘陵線の需要は、往復の利用者数で計算するため、約14, 500人の需要があると推計できる。

$$(6,330人 + 953人) \times 2 \Rightarrow 14,566人$$

7. 今後の課題

○東部丘陵線の利用について、「分からない」と回答した学生・生徒32.1%、教職員が6.8%ある。このため、これらの学生等を「利用する」へ誘導するための方策を検討する。

○東部丘陵線を「利用しない」と回答した学生・生徒、教職員について理由を分析し、利用者を増やす方策を検討する。

○今回の調査結果を踏まえ、開業前に再び詳細な調査、分析を行う。